

目次

はじめに	4
第一章 創造論の復活	9
第二章 アメリカと科学——親密なか犬猿の仲なのか	27
●事実と理論——地球はほんとうに丸いのか	32
●二つのアイディアとしての進化論	37
第三章 化石の記録と生命の歴史——さらに単純な予言	51
第四章 生物はいかに進化したか——進化学説の進化	65
●遺伝学の降臨	73
●総合説	78
●総合説と化石記録	84
●現代の進化論争	91
第五章 科学の方法と時間の概念——創造論者の攻撃(その一)	105
●創造論者の主張	113
●理論物理学について語る創造論者	118
●時間の痕跡とテダムのへそ	123
●ノアの洪水と化石記録	150
第六章 生命の起源と歴史——創造論者の攻撃(その二)	157
●種類と種類——創造論者と生物の階層	161
●欠落が問題だ	167
●ひどい歪曲	181
●デザイン、偶然、複雑さ	183
●最後の切札、生命の起源	191
●創造主がお造りになった	193
第七章 創造論、宗教、政治	197
●国レベルでの戦い	205
参考文献	212
付・アーカンソー州法第五九〇条	216
解説——合衆国における「大」進化論裁判——渡辺政隆	222
訳者あとがき	246
本文イラスト——木村しゅうじ	